

令和5年度第2回盛岡市緑のまちづくり会議

会議録 【概要版】

会議名	令和5年度第2回盛岡市緑のまちづくり会議
開催日時	令和6年2月9日(火) 10:00~12:30

出席者

氏名		分野
大瀧 英知	出	景観(総合設計研究所東北事務所長)
金沢 滋	出	商工(岩手・木質バイオマス研究会顧問)
木村 敦子	出	デザイン(岩手アートディレクターズクラブ会員)
佐々木 寿美子	出	商工観光(肴町商店街4S会所属)
島田 直明	欠	学識経験者(岩手県立大学)
中村 正	出	環境(岩手県自然保護協会常務理事事務局長)
広田 純一	出	学識経験者(岩手大学名誉教授)
細田 真理子	出	公園活用実践者(公園活性化交流広場チームリーダー)
若菜 千穂	欠	市民活動支援団体(いわて地域づくり支援センター事務局長)
滝村 敏道	代理	公園管理者(都市整備部技術監)

■事務局ほか

公園みどり課：玉山課長、美濃部課長補佐、平山副主幹兼計画係長、
吉田維持係長、佐々木文化財主査、川守主任、宮田技師、
熊谷技師、鈴木主事

まちなか未来創生室：松田室長、板垣主任

公園活性化プラン申請者：4団体

■傍聴

なし(非公開)

配布資料

- 会議次第
- 会議委員名簿
- 会議設置要領
- 議事等説明資料

資料1 PowerPoint スライド印刷資料

資料2 令和5年度 公園活性化プラン実施報告書

資料3 令和6年 公園活性化プラン申請書

資料4 第2次緑の基本計画アクションプラン実施状況一覧

要旨

議事第1号公園活性化プラン公園活性化プランの応募状況について

ほとんどが継続実施の申請であったため、令和5年度の実施状況の報告と、令和6年の申請内容の説明を事務局が行った。申請9件のうち、4団体が会場でプレゼンし、委員が審査した。

①こどもたちの音楽祭（盛岡城跡公園）【承認保留】

- ・夏の暑い時期にダンスパフォーマンスということで、日陰もない場所なので子どもたちが心配。
- ・500人規模のイベントだと、協力者が必要。他団体に属しているということだったが、このイベントのチームを作って組織的に取り組んではどうか。
- ・自分たちがやることと、業者に委託する業務の分担が分かるとよい。
- ・目的に「城が建設されるであろう…」とあるが、イベント自体は盛岡城跡に関係がない。盛岡城跡公園に親しむような関係性が欲しい。
- ・収益を公園整備に…というアイデアはよいが、まずは段階を踏んで。
- ・全体的に準備不足であるように思える。計画を具体化して再提出願いたい。

②IWATE COFFEE FESTIVAL 2024（盛岡城跡公園）【承認】

- ・条件等特になし。昨年同様に開催すること。

③盛岡楽縁祭（盛岡城跡公園）【承認】

- ・仮設トイレの設置数等について、盛岡歴史文化館と事前に打ち合わせを行ってほしい。

④盛岡まちなか子どもキャンプ（高松公園）【承認】

- ・条件等特になし。昨年同様に開催すること。

⑤わんにゃんまつり（高松公園）【承認】

- ・条件等特になし。昨年同様に開催すること。

⑥盛岡どんば 2024（高松公園）【承認】

- ・ライブパフォーマンス時の音量に配慮するなど、騒音対策を講じること。
- ・ランタンを飛ばさない工夫が必要。

⑦TAKAMATSU FEEL CAMP（高松公園）【承認】

- ・芝生を損傷しないよう、対策を講じること。
- ・高松の池に生息する野生動物などにも意識が行くような企画があれば、高松公園で開催する意味があると思う。

⑧OUTSIDE PLAY FESTIVAL（中央公園）【承認】

- ・条件等特になし。昨年同様に開催すること。
- ・来年度以降は活性化プラン卒業予定。

⑨子育て応援フリマルシェ（盛岡南地区公園）【承認】

- ・条件等特になし。昨年同様に開催すること。

議事第2号 第2次盛岡市緑の基本計画 令和5年度実施事業（アクションプラン）の実施状況について

第2次盛岡市緑の基本計画に基づく今年度実施事業（アクションプラン）の実施状況について事務局より報告し、承認された。委員からは、次のような意見が出された。

1 1-2① 街路樹設置基準の見直しと適正な運用

- ・単に「設置」や「伐採」の基準を書くだけでなく、盛岡市の緑化基準＝市としての緑の在りようを示してほしい。
- ・当面の支障木をいかに伐採するかではなく、樹木の更新など、市としての方針を盛り込んでほしい。
- ・木に対して愛情を感じられない。街路樹の持つ「合理性」「機能性」「美しさ」を考えてやっているのかお聞きしたいところ。

2 1-2② 街路樹の状態診断の実施

- ・根上がり等で伐採した後の植樹柵が目立つ。更新しないのであれば、歩道の幅員を戻してはどうか。バリアフリーの視点からも歩道は通行しやすい方がよい。
- ・街路樹について、企業が商品を見せるために店前の木を剪定するとか、協力できる仕組みがあっても良いと思う。例えば、Google でマッピングし、この街路樹はこの会社が管理に協力しているとわかるように示すなど。
- ・様々な企業協賛の仕組みがあるとよいと思う。地域貢献活動を行いたい企業は多い。

3 2-3②維持管理のための機材貸出

- ・事故やメンテナンスのことを考えると、機材自体の貸し出しは現実的でないかもしれない。
- ・やるとしても、リース料の補助などか。
- ・機材貸し出しの検討はやめて、他の方法を検討しても良いのではないか。

4 2-3③ 公園愛護会制度の見直し

- ・企業協賛の件について、看板などを設置して、「この公園の管理は〇〇が協力しています」とネーミングライツのように表示するなどしてはどうか。利用者や地元にも誰が管理しているか見えてよいと思う。

5 4-2① 都市ストックの再編

- ・現在の公園システムは、人口増・都市拡大の時代に構築されたもので、今は正反対の都市縮退の時代。公園のシステム（整備・管理）の根本的な見直しを行うべき時が来ている。市には時間を取って議論してほしい。
- ・大きさまざまな公園があるが、それぞれをどのような位置づけの公園とするか（大きな公園だけでよい地区か、子ども用の公園が必要かどうか、など）考えていきたい。
- ・公園愛護会の件もそうだが、全体として管理ができなくなっている。場合によっては公園を廃止して空き地にするのも一つの方法だと思う。（防災の観点から空き地で残すなど。）
- ・他都市事例や、ニーズ調査の結果を、この会議の場で示してほしい。

6 5-2① 私有地や民間建築物の緑化支援制度の検討

- ・マンション外構の緑は、緑被率 10 パーセント以上設けることとしているが、それ以外の部分を検討してはどうか。屋上緑化や、緑のフェンス、朝顔のカーテンなど。
- ・景観政策課等と一緒にブラッシュアップしてほしい。
- ・ただ芝生を設けるだけでなく、いろんな緑があつていい時代なので、様々なアイデアを提供してはどうか。

- ・木の種類や組み合わせ、生け垣などを検討してほしい。
- ・例えば、「紺屋町らしい緑」を探る努力が大切。地域ごとの緑というのは存在するし、町内会等も含めてその地域の歴史など、掘り起しはできる。

報告事項 ①公募設置管理制度（Park-PFI）における整備事業の状況について

（事業内容の審議、検討に関する情報が含まれるため、非公開）

報告事項 ②盛岡市動物公園再生事業について

- ・4/20のオープンから187,729人（R6.1.28時点）が来場。
- ・今年度から冬季も通常開園している。
- ・飲食テナント、フリースクール等も入居予定。
⇒フリースクールは、不登校傾向の生徒や障害のある子どもが主な対象。

その他 緑のまちづくり会議委員の任期満了・改選について

- ・若菜委員が今期をもって退任される。
- ・新委員には、次回会議（R6.5 予定）から出席いただく予定。